



装着ホイール & タイヤサイズ:18×9J IN25 & 225/50R18C

1995年の誕生以来、カスタム&チューニングシーンをリードしてきた、ワーク・マイスターシリーズ。中でも10交点メッシュデザイン×ディープリムを組み合わせた「マイスターM1」は、レーシングホイール直系の王道パターンにより、不変の魅力を放ち続ける1本だ。そんなマイスターM1のエッセンスを継承しながら、ハイエース専用の6Hモデルへと落とし込んだのが、「エクストラップM1HC」なのだ。

センターサークルの立ち上がりから広がる10交点メッシュディスク、存在感のあるステップリムへと自然と視線が惹きつけられる。ディスク外周を一段落とし込んでリムの存在感を高める手法は、まさにマイスターM1譲り。ステップリムのその奥にある窪みと合わせ、さらなる深さを演出しているのがわかる。

ハイパーガンメタディスクとコントラストをなすダイヤカットリムの鈍い光沢は、まるでディスクとリムを別ピースに見せてくれる。さらに幅広な「9J IN25」に対し、225/50R18Cタイヤを若干引っ張って履くことで、サイドウォールが寝て、足元をレーシーに見せているのもポイントだ。

「W」マークをあしらったフラットキヤップも必見。突起を極力抑えることで

あのマイスターM1の 遺伝子を受け継ぐ ステップリムの1ピースホイールが デリバリー開始!!

ディスクデザインを壊していない。ちなみにディスクに合わせたガンメタは、M1HCのために作られたのだとか。

サイズ展開は、「17×6.5J IN38」、「18×8J IN35」、そして25mmオバフェンに対してはほぼツライチになるカスタム上級者向けの「18×9J IN25」をラインナップ。

マイスターM1譲りの10交点メッシュディスクに、激深ステップリムが織りなすレーシングホイール直系の、王道パターンを履ける歓びを感じてほしい。



TYPE200 WHEELS

200系ハイエースのアフターパーツで常に進化を遂げるのはズバリ、ホイール! 足元をチェンジするだけで、愛車の雰囲気がガラリと変わるので、ぜひチャレンジしたいところ。今月もイチオシ 200系ホイールをチェキラ!!

PHOTO/南井浩孝 TEXT/岡本晃

EXTRAP M1HC



問>ワーク
☎06-6746-2859/048-688-7555/052-777-4512
<https://work-wheels.co.jp>



①マイスターM1譲りの影の深いメッシュホイールが、エクストラップM1HCだ。②人気のワークマークを取り込んだフラットなアクリルキャップは、ディスクカラーに合わせてガンメタで仕上げている。M1HCのために新たに製作されたカラーだ。③鈍い輝きを放つダイヤカットリムに加え、ディスク外周の落とし込みにより、1ピースとは思えないほど主張するステップリム。

エクストラップ・エムワンエイチシー

- サイズ:17×6.5J IN38、18×8J IN35、18×9J IN25
- 価格<税込>:4万8400~5万5000円
- カラー:ハイパーガンメタダイヤカットリム
- 構造:鑄造1ピース



装着ハイエースは足回りに強い石川のピットブルが製作!



車両協力/PIT BULL
☎0761-27-0809
<https://pit-bull.jp>

4WDで乗り心地にこだわったローダウンスタイルを得意とするショップ「ピットブル」。今回撮影した2台のナロー・S-GLは、ホワイトが2.5インチダウン、ブラックが3インチダウンを施したもので、どちらもロワードブロック、バンプストッパー、強化トーションバー、リアスタビには玄武をチョイス。ショックはピットブルがオススメするビルシュタイン・B6を装着。下げ幅によりトーションバーの太きを変えるなど、ノウハウに裏打ちされた緻密な作り込みがなされているのがポイント。インセット25のM1HCに合わせ、どちらもエッセックスの25mm幅オーバーフェンダーを装着する。パールホワイト車にはエッセックスのフロントリップとボンネットもセット。

